



## 平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 東海カーボン株式会社

コード番号 5301 URL <http://www.tokaicarbon.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 工藤 能成

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部経理部長

(氏名) 松原 和彦

TEL 03-3746-5100

四半期報告書提出予定日 平成25年11月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	75,029	△1.1	1,345	△75.3	2,530	△55.2	1,312	△61.6
24年12月期第3四半期	75,851	△5.3	5,451	△36.1	5,653	△29.5	3,415	△24.9

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 9,212百万円 (125.8%) 24年12月期第3四半期 4,080百万円 (224.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	6.15	—
24年12月期第3四半期	15.99	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第3四半期	176,109	121,181	66.9
24年12月期	166,668	113,266	66.1

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 117,839百万円 24年12月期 110,170百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	4.00	—	3.00	7.00
25年12月期	—	3.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	104,000	5.4	2,300	△59.7	3,500	△45.9	1,900	△4.7	8.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。  
詳細は[添付資料]3ページ「2. (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期3Q	224,943,104 株	24年12月期	224,943,104 株
② 期末自己株式数	25年12月期3Q	11,417,968 株	24年12月期	11,393,790 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期3Q	213,538,867 株	24年12月期3Q	213,558,631 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、[添付資料]3ページ「1. (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	9
※ 当社は、下記のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料については、開催後速やかに当社ホームページ上に掲載する予定です。	
・平成25年11月8日（金）・・・・アナリスト向け説明会	

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成25年1月1日から平成25年9月30日）における世界経済は、欧州の景気低迷や中国をはじめとする新興国経済の成長鈍化などの影響は受けましたが、堅調な米国経済に支えられ、全体としては弱いながらも回復が続きました。また、わが国経済も、雇用・所得環境の改善の遅れはあるものの、政府の経済政策が円安・株高や個人消費の増加につながり、東日本大震災の復興関連需要や輸出環境の改善を背景に、生産活動の回復や企業収益の改善など景気は緩やかに回復してまいりました。

このような状況のなか、当社グループの対面業界であるゴム製品、鉄鋼、情報技術関連、産業機械などの各業界においては、自動車関連分野では総じて需要に回復傾向がみられましたが、他の分野では回復に遅れがみられました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比1.1%減の750億2千9百万円となりました。損益面におきましては、各種経費の全面的な削減、一時休業の実施と雇用調整助成金の受給などの対策に取り組みましたが、販売数量減に対応した操業度の低下と設備増設に伴う減価償却費の増加などの影響が大きく、営業利益は前年同期比75.3%減の13億4千5百万円、経常利益は前年同期比55.2%減の25億3千万円となり、四半期純利益は前年同期比61.6%減の13億1千2百万円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

#### [カーボンブラック事業部門]

国内では、タイヤ生産が年初の落ち込みから回復基調をたどったことなどから、需要は徐々に回復してまいりました。タイヤではタイヤ生産の伸長を背景に需要は増加しました。また、中国では日系自動車メーカーの新車販売も回復してまいりました。一方、昨年6月から石巻工場が全面的に生産を再開し、タイヤの子会社も昨年12月から増設設備の稼働を開始しておりますが、国内ならびにタイヤの市場において安価な中国製品の台頭による影響を受け、販売数量は前年同期比わずかな増加にとどまりました。また、販売価格については原油価格の上昇に対する改定を実施しました。

以上により、当事業部門の売上高は円安効果も受け、前年同期比5.2%増の330億5千1百万円となりましたが、営業利益は操業度低下や設備増設に伴う減価償却費の増加などにより前年同期比62.0%減の14億9千6百万円となりました。

#### [炭素・セラミックス事業部門]

##### 黒鉛電極

世界粗鋼生産は中国、インドなどでの増加により前年同期の水準を上回りましたが、黒鉛電極の販売数量は、日本国内をはじめ欧米、韓国などの主たる需要先での需要回復の遅れなどから前年同期比減少しました。また、販売価格についても国内外とも弱含みで推移しました。この結果、円安効果は受けましたものの、黒鉛電極の売上高は前年同期比5.0%減の225億9千8百万円となりました。

##### ファインカーボン

半導体用は、一部の用途で回復の遅れはみられましたものの、全体としては回復基調で推移しました。太陽電池用は海外での回復が遅れ、総じて低調に推移しました。また、昨年後半に減少した一般産業用は年初より堅調を維持しました。この結果、円安効果は受けましたものの、ファインカーボンの売上高は前年同期比14.6%減の92億3千4百万円となりました。

以上により、当事業部門の売上高は前年同期比8.0%減の318億3千2百万円となり、営業利益は操業度の低下などにより前年同期比74.3%減の6億3百万円となりました。

#### [工業炉および関連製品事業部門]

主な需要先である情報技術関連業界では一部に回復の兆しはみられましたものの、全体としては設備投資抑制が続き、主力製品である工業炉の売上高は前年同期比減少しました。また、ガラス業界、電子部品業界の回復により発熱体その他の売上高は前年同期比増加しましたものの、本格的な需要の回復までには至りませんでした。

以上により、当事業部門の売上高は前年同期比2.9%減の30億2千5百万円となり、営業利益は前年同期比40.5%増の2億1千2百万円となりました。

#### [その他事業部門]

##### 摩擦材

主な需要先である建設機械業界向けは、世界的な資源価格下落の影響を受けた鉱山機械用途の大幅な需要減により販売が減少しました。この結果、農業機械向けは北米市場好調の影響を受け販売が増加しましたものの、摩擦

材の売上高は前年同期比3.6%減の60億2百万円となりました。

その他

不動産賃貸等その他の売上高はリチウムイオン二次電池用負極材の販売が増加したことにより前年同期比126.6%増の11億1千6百万円となりました。

以上により、当事業部門の売上高は前年同期比5.9%増の71億1千9百万円となり、損益面におきましては、摩擦材の収益悪化などにより1億1千8百万円の営業損失（前年同期は6千万円の営業利益）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末比94億4千1百万円増の1,761億9百万円となりました。流動資産は、たな卸資産などが減少したものの、現金及び預金などが増加したことにより、前連結会計年度末比3億9千7百万円増の872億7千7百万円となりました。固定資産は、時価上昇による投資有価証券の増加などにより、前連結会計年度末比90億4千3百万円増の888億3千1百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末比15億2千6百万円増の549億2千8百万円となりました。流動負債は、支払手形及び買掛金などが減少したものの、短期借入金などの増加により、前連結会計年度末比3億2千3百万円増の383億7千3百万円となりました。固定負債は、長期借入金などが減少したものの、繰延税金負債などの増加により、前連結会計年度末比12億3百万円増の165億5千4百万円となりました。

純資産合計は、その他有価証券評価差額金、為替換算調整勘定などの増加により、前連結会計年度末比79億1千4百万円増の1,211億8千1百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末比0.8ポイント増の66.9%となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年12月期第2四半期決算短信発表時（平成25年8月5日）に公表した業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,891	15,076
受取手形及び売掛金	28,259	26,788
商品及び製品	14,188	15,214
仕掛品	16,233	15,277
原材料及び貯蔵品	12,571	11,246
繰延税金資産	1,161	1,295
その他	2,627	2,598
貸倒引当金	△54	△220
流動資産合計	86,879	87,277
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,543	15,821
機械装置及び運搬具（純額）	24,692	24,042
炉（純額）	1,701	1,422
土地	7,080	7,109
建設仮勘定	8,089	10,863
その他（純額）	1,062	1,070
有形固定資産合計	58,169	60,330
無形固定資産		
ソフトウェア	408	410
その他	30	46
無形固定資産合計	438	457
投資その他の資産		
投資有価証券	19,405	25,978
繰延税金資産	396	278
その他	1,437	1,845
貸倒引当金	△58	△59
投資その他の資産合計	21,179	28,043
固定資産合計	79,788	88,831
資産合計	166,668	176,109

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,145	11,595
電子記録債務	—	509
短期借入金	13,784	18,209
1年内返済予定の長期借入金	851	1,318
未払法人税等	1,011	536
未払消費税等	18	—
未払費用	1,091	1,564
賞与引当金	155	664
繰延税金負債	2	2
その他	4,988	3,972
流動負債合計	38,050	38,373
固定負債		
長期借入金	6,191	5,044
繰延税金負債	3,911	6,107
退職給付引当金	3,096	3,456
役員退職慰労引当金	146	125
執行役員等退職慰労引当金	37	30
環境安全対策引当金	616	447
その他	1,352	1,341
固定負債合計	15,351	16,554
負債合計	53,401	54,928
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	20,436	20,436
資本剰余金	17,502	17,502
利益剰余金	76,082	76,113
自己株式	△7,134	△7,141
株主資本合計	106,887	106,911
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,666	9,606
繰延ヘッジ損益	△2	△0
為替換算調整勘定	△2,381	1,322
その他の包括利益累計額合計	3,282	10,928
少数株主持分	3,096	3,341
純資産合計	113,266	121,181
負債純資産合計	166,668	176,109

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	75,851	75,029
売上原価	60,685	63,377
売上総利益	15,165	11,652
販売費及び一般管理費	9,713	10,306
営業利益	5,451	1,345
営業外収益		
受取利息	95	59
受取配当金	215	249
受取賃貸料	212	217
持分法による投資利益	76	241
為替差益	70	977
その他	438	382
営業外収益合計	1,109	2,127
営業外費用		
支払利息	348	496
その他	559	445
営業外費用合計	907	941
経常利益	5,653	2,530
特別利益		
段階取得に係る差益	—	29
特別利益合計	—	29
特別損失		
減損損失	62	86
投資有価証券評価損	99	—
特別損失合計	161	86
税金等調整前四半期純利益	5,491	2,473
法人税、住民税及び事業税	1,917	1,186
法人税等調整額	△17	82
法人税等合計	1,899	1,269
少数株主損益調整前四半期純利益	3,591	1,204
少数株主利益又は少数株主損失(△)	176	△107
四半期純利益	3,415	1,312



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,591	1,204
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	252	3,943
繰延ヘッジ損益	△0	1
為替換算調整勘定	200	3,745
持分法適用会社に対する持分相当額	35	317
その他の包括利益合計	488	8,007
四半期包括利益	4,080	9,212
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,868	8,958
少数株主に係る四半期包括利益	212	253

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成24年1月1日 至平成24年9月30日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	カーボン ブラック 事業	炭素・ セラミ ックス 事業	工業炉お よび関連 製品事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	31,421	34,593	3,116	69,131	6,719	75,851	—	75,851
セグメント間の内部 売上高又は振替高	47	58	273	379	—	379	△379	—
計	31,468	34,652	3,390	69,511	6,719	76,231	△379	75,851
セグメント利益	3,935	2,347	150	6,434	60	6,494	△1,042	5,451

(注) 1 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、摩擦材事業および不動産賃貸等を含んでいます。

- 2 セグメント利益の調整額△1,042百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,039百万円が含まれています。全社費用は、報告セグメントに帰属しない研究開発費等です。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## II 当第3四半期連結累計期間（自平成25年1月1日 至平成25年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	カーボン ブラック 事業	炭素・ セラミ ックス 事業	工業炉お よび関連 製品事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	33,051	31,832	3,025	67,910	7,119	75,029	—	75,029
セグメント間の内部 売上高又は振替高	49	103	229	383	—	383	△383	—
計	33,101	31,936	3,255	68,293	7,119	75,412	△383	75,029
セグメント利益又は 損失(△)	1,496	603	212	2,312	△118	2,193	△848	1,345

(注) 1 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、摩擦材事業および不動産賃貸等を含んでいます。

- 2 セグメント利益の調整額△848百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△853百万円が含まれています。全社費用は、報告セグメントに帰属しない研究開発費等です。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

## (固定資産に係る重要な減損損失)

「炭素・セラミックス事業」セグメントにおいて、遊休状態にあり、将来の用途が定まっていない資産および除却予定資産について、回収可能価額が帳簿価額を下回ったことから減損損失を計上しています。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては72百万円です。